南阿蘇村で「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」開催

3月16日、南阿蘇村で、熊本地震の復興支援イベント「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」が行われました。

2017年3月16日（南阿蘇村立南阿蘇中学校体育館

心と身体の元気

3月16日、平成28年熊本地震の本震発生から、ちょうど11カ月を迎えたこの日。県内でも最も被害の大きかった地域の一つである南阿蘇村で、復興支援イベント「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」が開催された。同イベントはRKK熊本放送が主催し、趣旨に賛同したキリン株式会社が、被災者の心と身体の元気サポートの一環として協力している。西原村、益城町、御船町と順次開催され、今回が最後の開催。
午前9時から南阿蘇中学校体育館前の特設テントで、RKKラジオの人気番組「とんでるワイド大田黒浩一のきょうも元気！」の公開生放送を実施。同じく9時からは、地元の特産品や加工品、飲食店など8店が出店する「復興マルシェ」も開かれ、肥後にわかを見に来た地元の方々などで賑わった。また、マルシェに出店した同村の「南阿蘇道の駅あそ望の郷くぎの」のブースでは、キリンビバレッジの「生茶」「午後の紅茶」「FIRE」などの飲料も販売された。
午後2時からは、大田黒浩一さん主宰の「劇団きゃあ」の肥後にわか公演が行われ、約250席が設けられた体育館内は開演と同時に、集まった皆さんの熱気に包まれた。大田黒さんによる軽妙なオープニングトークに続き、熊本在住のシンガーソングライター・進藤久明さんが、おなじみの「あしたへ」などを披露。肥後にわかでは、演者たちの熊本弁丸出しの掛け合いが笑いを誘い、終了時刻の午後4時までの2時間、会場は来場者の笑顔であふれた。

コメント①

南阿蘇村　村長　吉良 清一 様

熊本地震で大きな被害を受けた南阿蘇村ですが、今後は災害に強い村づくりを進めることはもちろん、白川水源など豊富な水資源に恵まれた環境を生かし、"水"をテーマにしたむらづくりを推進していきたいと考えています。その中で、焼酎「白水」の原料として白川水源の水を使っていただいているメルシャン様をはじめとするキリングループ様には、さまざまな形で「南阿蘇村」を全国に発信するために、今後ともご協力いただきたいと思います。

コメント②

株式会社熊本放送　取締役編成局長　有働 祥三 様

ラジオは、発信する側と聴き手との距離が近いメディアです。その特性を生かし、熊本地震で被災された方々に寄り添いながら、お役に立てることはないかとの思いで、ラジオ放送と肥後にわかを組み合わせたイベントを企画しました。開催地となった自治体と、イベントの趣旨に賛同してご協力くださったキリングループ様には心より感謝申し上げます。今後も熊本地震の記憶を風化させず、次世代に伝えていくためにも、私たちにできることに取り組んで参ります。

コメント③

タレント、劇団「きゃあ」主宰　大田黒 浩一 様

これまでも仕事で県内各地の被災地を訪れ、被害の状況を見てきたつもりでいました。しかし、南阿蘇村に来てみて、あらためてまだまだ復旧の遅れているところ、手付かずのところがあるのを目の当たりにし、「（復興には）長い時間がかかる」と実感しました。これまで４つの町村にお邪魔し、肥後にわかで少しでも皆さんに元気になってもらえればとの思いでやってきました。これからも、復旧・復興に向けて頑張る住民の方々のために、まだ訪れていない市町村にも足を運べればと思っています。

コメント④

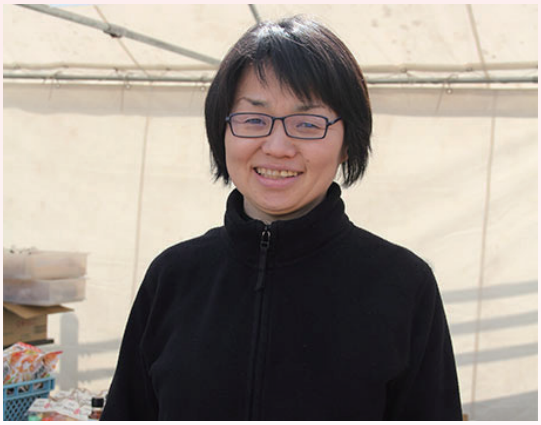
南阿蘇道の駅　あそ望の郷くぎの　あじさい館　課長補佐　内賀嶋 孝 様

あそ望の郷くぎのは、地震による建物の被害は軽微でしたが、水などのライフラインが途絶え、営業も一時休止しました。しかし、駐車場で車中泊をされる方が多かったので、一週間ほど炊き出しを行いました。一時は施設の存続も危ういほどでしたが、とにかくその日一日を精一杯頑張って、ようやく１年を迎えようとしています。キリングループ様からは、ブースで販売する飲料のご提供をいただいただけでなく、「午後の紅茶」の CM を南阿蘇村で撮影するなど、いろいろな形で村を応援していただき大変感謝しています。

コメント⑤

株式会社はくすい　総務課長　小林 恵子 様

昨年末に県道 28 号・熊本高森線の俵山トンネルルートが開通したことで、ようやく南阿蘇村にも観光客が少しずつ戻ってきました。地震後は、メルシャンの焼酎「白水」を購入された方に弊社が管理する白川水源の水をボトリングしたナチュラルミネラルウォーターをプレゼントしていただくなど、キリングループ様の支援にはとても感謝しています。まだまだ手探りの状態が続きますが、皆で支え合い、笑い合いながら前を向いて頑張っていきます。



コメント⑥

キリン株式会社　CSV 本部 CSV 推進部　絆づくり推進室長　野田 哲也郎

「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」は、「復興応援 キリン絆プロジェクト」が掲げる「笑顔で結ぶ。人を、日本を」にある、人を笑顔にするような取り組みとして協力させていただきました。熊本地震は幸いにも国や自治体などの初動が早く、インフラ等のハード面の復旧にはスピード感を感じます。キリングループでは、今後も一つ一つの案件を大切にし、地域の方々に寄り添いながら、民間企業だからこそできるソフト面での復興支援に力を注いで参ります。

コメント⑦

キリン株式会社　CSV 本部 CSV 推進部　主幹　大北 博一

これまで「復興応援 キリン絆プロジェクト」の "3 つの幹 " の一つ、「心と身体の元気サポート」では、子どもたちを中心にサッカー教室などを通じて支援を行ってきました。「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」は、初めての試みとして中高年の方々に向けた支援となりました。キリングループでは、今後も「地域の方々と共に幸せな未来をめざす」という CSV の基本理念に立って、復興に向けて頑張っている地域の皆さんと一緒に、その地域を元気にしていければと思っています。

コメント⑧

メルシャン株式会社 八代工場　工場長　上田 渉

地震後、南阿蘇村を訪れるたびに住民の方々に笑顔が戻り、観光客も増えている様子を見ると、私たちも励みになります。しかし、本格的な復旧･復興はまだこれからで、熊本地震は「過ぎたこと」ではないと思っています。八代工場で製造している焼酎「白水」に白川水源の水を使わせていただいている恩返しの意味も含め、一人でも多くの皆さんに南阿蘇村の素晴らしさと、そこで暮らす人々の元気を発信するお手伝いができればと思います。